

無所属 西東京市議会議員

# 森てるおの なんでもリポート 第45号



2008年7月発行（隔月発行）

定期購読料：年間1,000円（送料含む）

編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目 西東京市中町2-8-13-102

電話：042-439-7023

FAX：042-439-7024

## 市民本意の透明な行政－談合政治との決別を－

先日、「分権時代の議会改革－改革派首長からの提言－」という研究報告会に参加してきました。橋本大二郎元高知県知事、木下敏之前佐賀市長、福嶋浩彦前我孫子市長、石田芳弘元犬山市長のパネル討論もあり、たいへん有意義でした。

首長経験者が議会のあり方を提言するというところに疑問をもたれる方も多いかと思いますが、私は以前から、「議会を改革しようと思えば、市長が議会との間にわずかの溝を作るだけで可能だ」といつてきました。二元代表制という現在の地方自治制度の中では、議会と首長が同じ重さです。ところがたいていの場合、議員の多数が担いだ人物が市長を務めているので、議会は市長の付属機関に過ぎなくなり、事実上機能不全に陥っています。市長と「与党」の談合で施策が決まり、議会は単なる通過機関に過ぎなくなってしまうのです。

市民が何を言おうとも、「与党」で決まったことを議会で覆すことはほとんど望みがありません。西東京市は「少数与党」ですが、野党もまた「与党」を目指している立場ですので、圧力団体と化していて、構造が変わる余地はありません。「与党」と「野党」と「市長」が談合、暗闘を繰り返し、市民不在の中で物事が決まっていくこととなります。

### どんな市長を望むのか

西東京市は来年2月1日告示2月8日投票で市長選挙が行なわれることになりました。

どんな市長になるにせよ、「議会との間にわずかの溝を作る」ことができる市長、つまり、議会の中に「与党」を求めない市長以外に、談合政治を終わらせて、市民本意の透明な行政を実現させることはできないだろうと思っています。

前回選挙前に「坂口氏が当選したら次回選挙までに大政翼賛会ができていく可能性がある」と雑記帳に書きました。3月議会、6月議会どうでしたか。私は、次の選挙を垣間見た気がしています。自公が候補者を立てるかどうか、五分五分でしょうね。

第2、あるいは第3の候補として、政党推薦を得ないで立候補をされる予定の方がおられたら、やりようによって当選することができる可能性がそれなりにあります。ただ、当選したあと、総野党の議会に対してひるまずに「議会との間のわずかの溝」を作り、保持していけるかに、市民に信頼される市長になりうるかがかかっています。議会の中に支持基盤を置くのか、市民の中に支持基盤を置くのかという言い方をしてもいいかと思えます。

### 議員は裸の王様

おねだりを本業にして談合政治を繰り返してきた議員は、行政の仕事に一般的な優先順位があることを理解していません。市民の目がおねだりよりも税金の使い方に厳しく注がれていることにまったく気が付いていないのです。

情報公開を徹底し、市民参加を通じてやるべき仕事を定めていけば、それに逆らう議員は市民によって批判、淘汰されていきます。所詮、裸の王様です。議員の中でも、必要性や優先順位、事業の中身や予算などがわかる者だけが生き残り、議会が活性化されます。

## いろいろやりました。



5月6月につづいて、7月分の報酬も全額が供託されてしまいました。私に報酬を払うつもりはまったくない様子です。他市で行なわれている「受取らなかった増額分の供託」を選択せず、あえて前代未聞の措置に踏み切った坂口市長の人間性がここに現れていると思っています。

議員の生活を破壊することを躊躇しない人物は、当然、市民の生活を破壊することに躊躇しないものです。そのことは市民生活の困窮を顧みないで自分たちの増収を図ったことに象徴されています。

ここまでくれば、徹底抗戦しかありません。なんでもありの戦いになって来ました。2週間ほど前から、上着代わりにゼッケンをつけています。外圧利用作戦です。

ゼッケンを見て、報酬引き上げ、反対議員の存在、拡声器で見た、テレビで見たなどなどが、いっぺんに結びつくみたいで、市民の皆さんが声をかけてくださる機会が増えました。ゼッケンのバージョンを時々変えながら、息長く続けていこうと思います。

そのうちに、宣伝カーも回したいなと思っています。そのときには見かけたら声をおかけください。

## 映画を見に行ってきました。



「花はどこへ行った」というベトナム戦争が終わった今なお、枯葉剤の後遺症で新生児に傷害が多く発生しているそのドキュメンタリー映画です。枯葉剤はダイオキシン類を多く含んでいたわけです。

「ぜんぶフィデルのせい」というフランス映画も面白かった。上流家庭で育った少女が、親の思想的な変化に翻弄され、葛藤しながら順応していく様子が面白い。この映画を池袋の新文芸座で見たのですが、「パンズ ラビリンス」と2本立てだったんです。映画としてはこちらのほうが売れたのですが、私には「ぜんぶフィデルのせい」のほうが面白かったですね。フィデルはフィデル・カストロ。亡命キューバ人のお手伝いさんが口にしていたのを、少女がなんとなく雰囲気を感じ取って使っていたのが笑えました。

## ◎森てるおの活動記録（2008年5～6月）

※主なものを掲載しています。

5月1日	報酬協議：議会事務局	6月1日～	なんでもりポート原稿
2日	改憲阻止、国会院内集会	3日	議会運営委員会
3日	スタッフ会議	6日～23日	第2回定例会（6月議会）開会
4日	拡声器配布依頼：配送	7日	街宣準備、スタッフ会議
5日～6日	ポスティング	8日	街宣「市長報酬を払え！」
7日～21日	駅頭議会報告	9日～12日	一般質問
8日～9日	報酬事務折衝：不払い通告	10日	街宣「市長報酬を払え！」第2弾
17日	開かれた議会シンポジウム	14日	「改憲反対」6・14フェスタ
20日	後期高齢者医療廃止申し入れ	15日	高校生取材来訪
24日～25日	市民のひろば	18日	道路訴訟打ち合わせ
26日	道路訴訟証人調べ	24日	拡声器、市議会だより原稿準備
31日	草の実アカデミー	28日～29日	ポスティング
		30日	道路訴訟証人調べ 議会運営委